

事務事業名	慶弔管理事務										事務事業No.	811 - 24			
1. 基本情報															
担当部	担当課			担当係		作成者職名		作成者氏名		所属長職名		所属長氏名			
総務部	企画政策室			秘書係		主任		井下 咲		主幹		関 敏幸			
施策体系	総合計画	政 策	8	その他											
		施 策	1	その他											
		基本事業	1	その他											
	その他の計画		個別計画		-										
根拠法令・条例・要綱等		なし（内部規定：飯塚市長交際費の支出及び情報公開に関する基準）													
事業開始年度		-		事業終了年度		-		事務事業類型		ソフト事業					
実施手法		全部直営		補助金等の支給		なし		実施計画期間		-					
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）															
概要	円滑な市政運営を目的に、市長が市の代表として、外部の関係者や関係団体との交際・交渉を行う際に要する経費。社会通念上適正な範囲内において、必要最小限の支出に努めている。														
対象	働きかける相手・もの	市政に功績のある関係者及び市政運営上、交際・交渉を必要とする関係団体													
手段	方法・働きかけ（活動指標）	祝電・メッセージの送付及び祝儀・香典・生花等の支出													
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	関係者・関係団体に対し、市からの敬意を示し、適切な関係性の維持を図る													
3. 活動指標（決算成果説明書と連動）															
指標名		単位	指標の説明（算式等）				前年度実績	本年度実績	次年度見込						
提供件数		件	電報発送件数+交際費支出件数				293	259	400						
4. 成果指標（決算成果説明書と連動）															
指標	対象件数	単位	達成目標値			前年度実績	本年度実績	次年度見込							
		件	-	目標値		400	400	400							
説明	交際・交渉を必要とする用務の件数（年度毎に変遷）	方向性	達成目標年度	実 績		293	259								
		維持	-												
指標		単位	達成目標値			前年度実績	本年度実績	次年度見込							
				目標値											
説明		方向性	達成目標年度	実 績											
指標		単位	達成目標値			前年度実績	本年度実績	次年度見込							
				目標値											
説明		方向性	達成目標年度	実 績											
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）															
経費区分	一般会計 義務的経費					特別会計	-								
予算科目・事業	会計	1	一般会計		款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費		
	大	99	その他一般管理費		中	31	慶弔管理費【義務】		他 0 事業						
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)		前年度実績(千円)			本年度実績(千円)			増減理由(10%以上の場合)			次年度予算(千円)			
	正職員		0.30	人	2,384	0.30	人	2,444				0.26	人	2,118	
	任期付職員(保育士)		0.00	人	0	0.00	人	0				0.00	人	0	
	任期付職員(子ども家庭支援員)		0.00	人	0	0.00	人	0				0.00	人	0	
	任期付職員(CW・水質)		0.00	人	0	0.00	人	0				0.00	人	0	
	再任用フル		0.00	人	0	0.00	人	0				0.00	人	0	
	再任用短		0.00	人	0	0.00	人	0				0.00	人	0	
	会計年度	1級フル		0.00	人	0	0.00	人	0				0.00	人	0
		1級パート		0.00	人	0	0.00	人	0				0.00	人	0
		2級パート		0.00	人	0	0.00	人	0				0.00	人	0
人件費計(A)			2,384			2,444						2,118			
事業費	直接事業費(B)		894			1,134						3,012			
	総事業費(A+B)		3,278			3,578						5,130			
直接事業費のうち		交際費		787			1,082						2,850		
の主な歳出内訳		通信運搬費		103			45						145		
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)		0			0						0			
	国・県支出金		0			0						0			
	市債		0			0						0			
	一般財源		3,278			3,578						5,130			
その他()															

6. 事務事業の事後評価★		
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価	高い	円滑な市政運営のため、市が主体的に関与する必要がある、適宜対応が必要な業務である。交際費支出基準に基づき、公平性を以って支出している。
効率性 評価	高い	交際費支出基準を定め、効率的に事務処理を行っている。
有効性 評価	高い	市の業務が、円滑に遂行されるとともに、関係者や関係団体との適切な関係性の維持に寄与している。

7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	引き続き交際費支出の決定にあたって、支出基準に照らし社会通念上妥当な範囲内とし、極力必要最小限の支出に努める。
二次評価	現状維持		
	コスト投入の方向性	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	交際・交渉上、必要最小限の支出額であるかを随時精査する。
	現状維持		
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入			
各案内について、支出基準、他の事例、近隣他市の状況を確認する等、必要性を精査し適正な支出を行った。			

8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★	
〔成果〕	各種式典や祝賀会等の案内に基づき、出席数が増加し、祝儀等の交際費の支出は増加、メッセージ等発送件数は減少したが、各案内について、支出基準、他の事例、近隣他市の状況を確認する等、必要性を精査し適正な支出を行い、円滑な市政運営に寄与した。また、物価高騰等に伴い、生花スタンド支出基準の見直しを行った。
〔課題〕	社会通念上適正な範囲内において、交際・交渉上、必要最小限の支出額であるかを随時精査する。

9.今後の事業の方向性と改善策	
成果の方向性	〔理由〕 円滑な市政運営を目的に、市長が市の代表として、外部の関係者や関係団体との交際・交渉を行う際に要する経費であり、成果を求めるものではないため。
現状維持	〔理由〕
コスト投入の方向性	〔理由〕 社会通念上適正な範囲内において、交際・交渉上、必要最小限の支出に努めているため。
現状維持	〔理由〕
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	引き続き交際費支出の決定にあたって、支出基準に照らし社会通念上妥当な範囲内とし、極力必要最小限の支出に努める。
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	交際・交渉上、必要最小限の支出額であるかを随時精査する。

評価変更理由	成果の方向性	交際費の運用については内規を定めており、また、必要に応じ適宜見直しを行っている。今後も随時見直しを行いながら、適切な事務を遂行すること。
	現状維持	
	コスト投入の方向性	現在、支出に対し予算額が過多となっていることから、他自治体の事例等も参考にし、適切な予算要求を行う必要がある。また、随時運用の見直しを行い、適切な支出を行いコストの縮減に努めること。
	縮小	